

人間科学科について知りたい方のための

フリーぺーぱー『らいふみる』

2025年8月23日発行

[学科の学びを理解するということ]

総合型選抜および学校推薦型選抜入試が近づいてきました。いずれの入試志願者にとっても大切なことは、学科の学びを十分理解し、志望動機を明確にすることです。人間科学科の学びは学融合（学際）的であることから、イメージしにくいところがあります。第4号では、4年間の学びの集大成である卒業論文のタイトル（2024年度卒業生分）を紹介します。これらのタイトルをみるだけでも学科の特徴である「複眼的な視座」を実感できるのではないかでしょうか。また、選択必修科目となっている1年次の重要な3つの授業について紹介しました。心理学、社会学、身体科学の特徴や学び方についてイメージをつかんでいただければと思います。興味がある分野については、紹介した本を手にとっていただき一読していただければ、よりよくそれぞれの分野が理解できることでしょう。



学科キャラクター『らいふみる』くん

[人間科学科の卒業論文]

人間科学科の卒業論文は3年次の専門演習Ⅰ・Ⅱの担当教員がそのまま指導にあたります。多くのクラスでは3年生のときから、4年生の中間報告を聞いたり、卒論テーマに関する報告を行うなど、卒業論文への準備が始まります。4年生には卒業論文のための授業はないのですが、同じクラスのメンバーで集団指導を受けたり個人指導を受けたりしながら研究を進めていきます。もちろん教員のサポートはありますが、テーマの決定、先行研究の把握、リサーチ計画の決定、データの収集、分析、執筆までを自分自身で行うことが求められます。人間科学科の卒業論文の特徴は、心理学、社会学、身体科学の各分野にまたがる多様なテーマが研究の対象となっていることです。各分野の卒業論文のテーマや取り組みの特徴について紹介しましょう。

[心理学の卒業論文]

心理学系のゼミで執筆される卒業論文では、4名の教員のゼミごとの特色を背景にしつつも、個々の学生の問題意識を反映した、バラエティに富んだ論題が並びます。なかには、ゼミに配属される3年生のうちから「〇〇の問題に取り組みたい」と相談に来て、はやいうちから企画をあたためる学生もいます。手法としては、自ら実験や調査をデザインし、取得したデータをもとに主張を展開するものや、先行研究のデータの2次分析をおこなうもの、新旧の文献を幅広くレビューするもの、などがあります。どのようなタイプの卒論でも、基礎概念・理論やこれまでの研究の枠組みを振り返りながら、自分の研究を位置づけ、その特徴を論じていくことは大切です。実験の方法には、さまざまな種類の刺激に対する評価や反応を記録したり、脳波や筋電位、眼球運動を記録したりなどがあります（第3号参照）。オンラインでの実験や調査も工夫しながら取り入れています。

[心理学の卒業論文のタイトル]

- ・8ビート・ドラムとベースのタイミングの知覚
　　—主観的ジャスト点と物理的ズレの関係—
- ・カラー・ディファレンシャル法による心理測定の提案と実践
- ・逆向再生による具象性効果の検証
- ・背景の対称性が情景の美しさにおよぼす効果
- ・相手からの深層的な開示に対する自己開示の返報性の実験的検討　～悩み相談場面を用いた受け手の発話内容分析～
- ・自己開示の重要性認知の向上が親密な関係形成に及ぼす影響
　　～深い自己開示経験を重ねるグループワークの開発～
- ・子どもをイヤだと思うのはどのような人か?
　　—接触体験とアタッチメントの視点から—
- ・放課後等デイサービスの現状と課題
　　—職員の葛藤についてのインタビュー調査—

【社会学の卒業論文】

社会学系のゼミで卒業論文を書く学生のテーマの特徴はユニークかつ非常に多岐にわたることです。卒業論文は学生自らがテーマを選び1年ほどにわたって、リサーチや分析、執筆活動までを行います。まず大切なのは長期間にわたり自分が真剣に取り組めるテーマを選ぶことです。もうひとつのポイントはこれまでの社会学者たちが取り組んできた問題や概念を使って分析ができるテーマであることです。教員として卒論のテーマ選びで期待しているのはオリジナリティの出せるテーマを選ぶことです。オリジナリティとは、その論文を読まなければわからないことがあるということです。とはいえそれほど難しいことではなく、具体的で観察可能な社会現象を選び自らデータを集めて考察をすればよいのです。リサーチの方法も多様で、質問紙調査や、インタビューや観察、そしてさまざまな文化的創作物についての内容分析などが行われています。

【社会学の卒業論文のタイトル】

- ・郊外住宅地のもつ持続可能性とその限界～ユーカリが丘ニュータウンのまちづくりを事例に～
- ・タトゥーから考える自己の身体の社会性—生きづらさに振り回されない自己肯定感を探求する—
- ・部活動における上下関係の意義～高校柔道部を例に～
- ・エコーチェンバー現象の背景
- ・社会的迷惑行為の発生要因の分析と低減・予防策の考察
——心理的発達と周囲の状況に着目して——
- ・大量虐殺に至る社会の潜在的要因と為政者による活用
——ナチスドイツとルワンダ内戦の類似性の検討——
- ・原作への／からの創作—同人活動者の語りを通して—
- ・アイドルとファンのあいだで生まれる感情
～= LOVE のファンへのインタビュー調査を通して～
- ・社会考慮と公正観がネット炎上への態度に及ぼす影響
- ・大規模音楽フェスはどのように「協奏」したのか—参加者と楽しみ方の多様化を軸に—

【身体科学の卒業論文】

身体科学系ゼミに所属する学生は多様な生活習慣が身体に及ぼす影響、といったテーマで研究を行っています。研究では実験や測定、調査などを活用しますが、複数の方法を用いて多面的な検討を行う学生も多くいます。3年生の春休みは就職活動にも力を入れる時期ですが、学生たちは卒論についても積極的に取り組んでいます。この時期に関心のあるテーマにもとづいた研究計画を考え、予備実験、予備調査を行って課題（問題点）を明らかにしていきます。課題がないことは稀ですので、ほとんどの学生が研究計画の見直しを行ってから本実験、本調査に進んでいきます。さて昨年度に提出された卒論のタイトルを眺めてみると、心理学的な視点、たとえばストレスや感情、気分といった指標から検討した研究が多いことがわかります。このことは人間科学科が目指す「複眼的な視座を持つ」ことが学生たちにしっかりと根付いていることを示していると考えています。

【身体科学の卒業論文のタイトル】

- ・起床直後に実施する運動は主観的睡眠感および運動後の気分にどのような影響を及ぼすか
- ・大学野球選手におけるルーティーン、パフォーマンスおよび心理的競技能力の関連
- ・喫煙習慣を有する大学生の睡眠と精神的健康度に関する検討
- ・深夜アルバイトに従事する大学生の学修および学生生活に対する意欲と精神的健康度の関連
- ・1週間固定した入浴時間の違いが気分および睡眠感に及ぼす影響
- ・起床時におけるアラーム音の違いが主観的睡眠感および睡眠慣性に及ぼす影響
- ・約1年間の起床時睡眠感調査と活動量計記録から評価した女子大学生の月経周期と夜間睡眠の関係
- ・大学生の朝食における食行動と睡眠の質および社会的時差ボケの関連について
- ・種類の異なる運動は自律神経活動および気分状態にどのような影響を及ぼすか
- ・痩身を目的とした減量行動と運動および食習慣の関連

【授業紹介：心理学の基礎】

皆さんは「心理学」にどのようなイメージがありますか？「心理テストをやって人の心がわかるようになる」、「犯罪者の心を研究している」、「心の病の研究をしている」…皆さんのこれまでの経験によってそのイメージは多様です。「心理学の基礎」では、4年間の心理学に関する学習の礎になるように、科学としての心理学の基本的な内容を講義します。まず、心とは何か、科学とは何かを考えます。次に、心理学の各領域について、それぞれの基礎的な理論を概説しながら、そのような理論が心理学の応用の分野や社会においてどのように生かされているかを考えていきます。人間科学科では、1つの学問領域のみを扱うのではなく、多様な学問領域を通して複眼的な視野を養うことを主眼としています。受講生が日常的に感じたり、考えたりしていることを紹介しながら、「心理学の基礎」で学んだことが他の学問領域ともつながりができるように授業を展開しています。

[授業紹介：社会学の基礎]

「マインクラフト」というゲームをご存じですか。大自然に投げ出されたプレーヤーが、食料をとったり、家を作ったり、登場する人間と対面したり、まさに社会を作り上げていくシミュレーション・ゲームです。社会学の基礎で取り上げる「社会秩序はいかに形成されるか？」を扱う回では、皆さんも中学・高校で習った社会契約論の内容を、この「マインクラフト」に見立てて、学生に偉大な思想家たちと同じシミュレーション体験をしてもらっています。社会学の基礎は1年次の基礎科目で、なんと2コマ続きの200分で行われる点が他の大学にあまり類を見ない特徴です。講義の中で、この時間を贅沢に使い、ユニークな実習を取り入れ、他では味わいがたい学びを経験できるわけです。そして、いつのまにか専門的な知識が身につけられます。授業の各回では、「社会のチカラで予言は実現することもある!」、「あなたも日常生活の演技派俳優?」など、コンセプトとなる問い合わせがかりに授業を展開しています。

[授業紹介：身体科学の基礎]

人間科学科は、1年生では学科の学びの基礎となる科目を中心に、さらに学年進行とともに専門性の高い発展的な授業を開講します。学生の多くは心理学と社会学に関心があるので身体科学分野への関心がさほど高くない状況ですので、「身体科学の基礎」がどのように展開されるかについて多少の不安を感じながら履修登録をしているのではないかでしょうか。

さて授業では人体の構造と働きについて学びますが、主として生活習慣や健康との関連が強い領域を取り上げます。具体的には骨・筋・神経（動くこと）、呼吸・循環（生きること）、消化吸収（食べること）が中心となります。最初は関心が高くなかった学生も自分からだに存在するさまざまな臓器や器官が体系的、有機的に働いていることを知り、興味と理解を示すようになります。さらにそれぞれが懸命に働いていることで私たちは元気に生きていくことができるのですから、自分のからだへの感謝も忘れずに学んでほしい、と思いながら授業を展開しています。

[人間科学科のおすすめの本]

人間科学科の先生たちが皆さんにお薦めの本を考えて右に挙げてみました。ここでは一部についてですがお薦めポイントを紹介します。

まず心理学では、デイヴィッド・イーグルマン『あなたの知らない脳——意識は傍観者である』は、近年の脳科学・神経科学の知見を楽しみながら振り返りたい方や、人間観を考えてみたい方におすすめです。次に社会学では、奥村隆『反コミュニケーション』は、自称コミュニケーション嫌いの著者が、学生と高名な社会学者たちとの架空の対談を通して、コミュニケーションとは何かに迫ります。ユン・ウンジュ『女の子だから、男の子だからをなくす本』は性別で生き方が決められてしまう問題性を考えさせられます。身体科学では、NHKスペシャル取材班『健康格差 あなたの寿命は社会が決める』です。誰でも享受できるはずの健康もすべての世代で格差があるという実態に対して、国内外の事例を丁寧に分析・考察した取材班の意欲が感じられます。

さらに学科の学修に関連する領域からも挙げてみました。村上陽一郎『あらためて教養とは』です。今の社会では皆さんが本当に必要な情報や知識を選び取ることは簡単ではありません。「教養」を考えることは、まさにそのために必要なことと言えるでしょう。

[おすすめの本のタイトル]

— 心理学 —

- ・デイヴィッド・イーグルマン『あなたの知らない脳——意識は傍観者である』早川書房、2016年。
- ・ロジャー・R・ホック『心理学を変えた40の研究——心理学の“常識”はこうして生まれた』ピアソンエデュケーション、2007年。
- ・山岸俊男監修『徹底図解 社会心理学——歴史に残る心理学実験から現代の学際的研究まで』新星出版社、2011年。
- ・外山紀子・長谷川智子・佐藤康一郎編『若者たちの食卓——自己、家族、格差、そして社会』ナカニシヤ出版、2017年。

— 社会学 —

- ・奥村隆『反コミュニケーション』弘文堂、2013年。
- ・ユン・ウンジュ『女の子だから、男の子だからをなくす本』エトセトラブックス、2021年。
- ・見田宗介『社会学入門——人間と社会の未来』岩波書店、2006年。
- ・松永伸太郎『アニメーターはどう働いているのか——集まって働くフリーランサーたちの労働社会学』ナカニシヤ出版、2020年。

— 身体科学 —

- ・NHKスペシャル取材班『健康格差 あなたの寿命は社会が決める』講談社、2016年。
- ・杉浦敏之『死ねない老人』幻冬舎、2022年。

— その他の関連領域 —

- ・村上陽一郎『あらためて教養とは』新潮社、2009年。
- ・ピーター・バーク『知識の社会史——知と情報はいかにして商品化したか』新曜社、2004年。

【人間科学科の就職活動と就職先】

人間科学科の卒業生が就職する業種は、サービス業、情報通信業、小売業を中心としながら、卸売業、製造業、不動産・物品賃貸業など多岐に渡ります。以下には主要な就職先一覧として、過去3年間（2022年度～2024年度卒業生）の東京証券取引所の上場企業（東証プライム市場・スタンダード市場）や優良企業、医療法人や社会福祉法人、公務員を中心として掲載していますので参考にしてください。

人間科学科では統計学や科学的研究手法を学ぶため、データを適切に扱うことのできる文系学生として、近年とくに情報通信業からの採用が急増しています。2020年度以降は新型コロナウィルス感染症の影響により、オンライン面接を主とする就職活動となりましたが、大学で学んだことを積極的にアピールし、上場企業からの採用を獲得する学生も多くいました。学科で取得できる認定心理士や社会調査士といった資格関連科目の履修も進路に影響していると考えています。

【小売・卸売】(株)サンドラッグ／(株)ヤオコー／(株)ライフコーポレーション／日本調剤(株)／(株)コジマ／(株)エービーシー・マート／(株)ファストリテーリング／(株)セブン-イレブン・ジャパン／イオンリテール(株)／生活協同組合コープみらい／(株)システィナ／(株)IDOM／リリカラ(株)／(株)グリムス／リコージャパン(株)／(株)ドトールコーヒー

【サービス】アイ・ケイ・ケイホールディングス(株)／(株)フルキャストホールディングス／(株)プレステージ・インターナショナル／日総工産(株)／(株)NEXYZ.GROUP(株)／(株)ブロンコビリー／トランスクスモス(株)／(株)東京ドームホテル／(株)AINホールディングス／パーソルテンプスタッフ(株)／(株)東武ホテルマネジメント

【情報通信】NSW(株)／(株)クレスコ／(株)フォーカスシステムズ／(株)アイネット／コムチュア(株)／富士ソフト(株)／(株)エヌアイディイ／NTT 東日本／(株)東京商工リサーチ／

【建設・製造】(株)加藤製作所／相模ゴム工業(株)／古林紙工(株)／(株)ブルボン／東建コーポレーション(株)／(株)日立プラントコンストラクション／(株)ワコール

【医療・福祉】(株)ウェルビー／(社福)東京都社会福祉事業団／日本赤十字社／(社福)横浜市福祉サービス協会／(株)ベネッセスタイルケア／(医)徳洲会宇治徳洲会病院／社会保険診療報酬支払基金

【運輸】JR 東日本／西武鉄道(株)／(株)サカイ引越センター／福山通運(株)

【不動産・物品賃貸】スタートコーポレーション(株)／(株)ランドネット／三井住友トラスト不動産(株)／トヨタモビリティサービス(株)／住友不動産販売(株)

【金融・保険】丸三証券(株)／巣鴨信用金庫／瀧野川信用金庫／埼玉みずほ農業協同組合／防衛省共済組合

【公務員】人事院／川崎市役所／京都府警察本部／山武市役所／埼玉西部消防組合

【人間科学科での学びと就職活動】



人間科学科には「仕事の社会学」や「職場の社会学」などの仕事をテーマにした授業があるため、学生は働くことについて深く学び考えたうえで就職活動に取り組んでいます。上の写真に並べられている本は、それらの授業に関連する参考図書です。

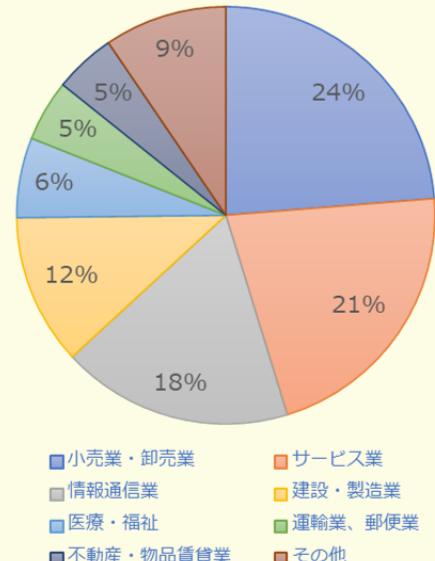


図. 過去3年間の就職先の業種別割合

【編集後記】

*『らいふみる』の2025年版の第4号（2025年8月23日発行）を発行いたしました。今回は主に人間科学科の卒業論文や就職先などについてご紹介いたしましたが、今後も『らいふみる』を通して人間科学科のことについていろいろとご紹介していきたいと思いますので、ぜひご覧いただけたらと思います。

*『らいふみる』は大正大学人間学部人間科学科について知りたい方のためのフリーペーパーです。本冊子の記事や写真などを無断で複製・転載しないようお願ひいたします。また、人間科学科について詳しくは、下記のURLか右記のQRコードから学科のブログをご覧いただきたいと思います。

（人間科学科ブログ：https://www.tais.ac.jp/faculty/department/human_sciences/blog/）

